

とくしま林業アカデミー3期生のコンパス測量の講義と現地実習を行いました

平成30年 7月26日
徳島森林管理署

平成30年3月に四国森林管理局、徳島県、徳島県森林づくり推進機構との間で締結した人材育成連携協定に基づき、7月24日、四国森林管理局と徳島森林管理署は、とくしま林業アカデミー第3期生13名(うち女性2名)を対象にコンパス測量に関する講義と現地実習を行いました。

まず、濱本四国森林管理局技術普及課長から木造新学舎においてコンパス測量の手順、留意点等の講義を行い、その後、周辺の県有林に移動し、実際にコンパス測量器を使って、事前に徳島森林管理署職員が設定した収穫区域(12側点、区域面積約0.3ha)を5班に分かれて測量を行いました。各班には徳島森林管理署長、濱本課長他3名が指導者として付き、学生に傾斜地での測量器の設置方法や方位角、傾斜角の見方・読み方、測量点間の距離測定などを指導しました。

今年度は、本年8月に去る5月に成立した森林経営管理法等に関する講義、9月に国で初めてCLTを本格活用した庁舎となる嶺北森林管理署(高知県本山町)の新庁舎の構造見学会を予定しています。

徳島森林管理署では、今後も、関係機関・団体等が取り組む人材育成を積極的に支援してまいります。



H30.3.23 の人材育成連携協定締結(当時)



コンパス測量の講義の様子



コンパス測量の現地実習の様子



測量結果を入力し収穫区域の製図の様子